

平成22年12月24日

各 位

会 社 名 山下医科器械株式会社
 代表者氏名 代表取締役社長 山下 尚 登
 (コード番号:3022 東証第一部)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 伊藤 秀 憲
 (TEL 092-726-8200)

**業績予想の修正、特別損失の計上及び
 配当予想の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ**

当社グループは、平成23年5月期第2四半期及び通期において、下記の通り特別損失を計上する見込みとなりましたので、その概要をお知らせいたします。また、特別損失の計上及び最近の業績動向を踏まえ、平成22年7月12日に公表いたしました平成23年5月期第2四半期及び通期の連結及び個別業績予想を下記の通り修正するとともに、配当予想を修正いたしますので、お知らせいたします。

また、業績予想及び配当予想の修正に伴い、当社役員報酬の減額を決定いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成23年5月期第2四半期(累計)及び通期業績予想の修正

(1)平成23年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,816	54	82	35	13.82
今回発表予想(B)	18,565	30	74	△352	△138.27
増減額(B-A)	△1,250	△23	△8	△388	
増減率(%)	△6.3	△43.9	△10.5	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	18,137	133	169	103	40.51

(2)平成23年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,565	204	262	129	50.70
今回発表予想(B)	39,455	138	208	△310	△121.86
増減額(B-A)	△2,109	△65	△53	△440	
増減率(%)	△5.1	△32.1	△20.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	39,421	278	359	186	73.05

(3)平成23年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成22年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,723	32	62	23	9.24
今回発表予想(B)	18,452	17	59	△366	△143.74
増減額(B-A)	△1,270	△15	△2	△390	
増減率(%)	△6.4	△46.3	△4.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年5月期第2四半期)	18,043	118	154	89	34.89

(4)平成23年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年6月1日～平成23年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,365	160	220	108	42.33
今回発表予想(B)	39,308	99	171	△328	△128.70
増減額(B-A)	△2,056	△61	△48	△436	
増減率(%)	△5.0	△37.9	△22.2	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年5月期)	39,193	268	343	170	66.79

(5)修正の理由

① 平成23年5月期第2四半期(累計)及び通期業績予想(連結)

連結につきましては、下記の個別業績予想修正が大きく影響するため、修正しております。

② 平成 23 年 5 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想

現下の医療業界を取り巻く経営環境は、本年4月の診療報酬改定後も全体的に厳しく、当社グループが属する医療機器販売業界における競争環境も、一層激しさを増しております。

そのような中、当社ではSPD(院内物品管理)契約施設の増加に対応するため、本年4月よりSPDセンターを稼働させ、商品物流の効率化をはかりながら、一般消耗品分野や低侵襲治療分野及び関連する一般機器分野の売上拡大に取り組んでまいりました。また、同じく本年4月より医療 IT の情報拠点として「メディプラザ福岡」を開設し、医療情報分野やメディカルサービス分野の顧客基盤の拡大をはかってまいりました。

これらの結果売上高は、一般消耗品及び低侵襲治療分野並びに医療情報分野においてはほぼ期初予想通りの実績を上げておりますが、大型設備案件の減少等により医療機器備品や理化学備品等一般機器分野においては計画に届かず、全体としては期初予想を下回る見込みであります。

利益面では、広告宣伝費や販売促進費等の販売費及び一般管理費の抑制と、仕入割引等営業外収益の増加により、売上の未達に伴う売上総利益の不足をカバーし、経常利益ではほぼ期初予想どおりとなる見込みです。なお、当期純利益につきましては、「2. 特別損失の計上」の記載にありますように、医療モール事業の固定資産の減損処理をいたします結果、前回発表の予想を大きく下回る見込みであります。

③ 平成 23 年 5 月期通期個別業績予想

今年度下半期におきましては、内視鏡の上位機種での売上増や処置具新製品の投入効果が見込める低侵襲治療分野や、CT・MRI 等の画像診断機器部門での売上増を見込んでおります。また、医療ガス工事等の設備工事の竣工が年度後半に集中しており、設備部門でも計画を上回る見込みであります。一方、一般機器分野では、医療機器備品や理化学備品について前期ほどの大型案件がなく、期初予想を下回る見込みであります。

これらの結果、通期の売上高全体では期初予想を下回る見込みとなり、引き続き経費削減や営業外収益の増強に努めますが、営業利益、経常利益についても上記の通り下方修正をしております。また当期純利益につきましては、特別損失の計上により、前回発表の予想を大きく下回る見込みであります。

2. 特別損失の計上

(1) 特別損失の内容

当社は、平成 21 年 6 月に広島県福山市に医療モールをオープンいたしました。この医療モールは、医療・食事・運動を複合的にミックスさせた新しいタイプのヘルスケア施設として、地域医療への貢献を目的として、取り組んだ事業であります。

本医療モールは大きく「クリニック棟」と「フィットネス棟」に分かれており、そのうち「フィットネス棟」については全てのテナントの入居が完了しておりますが、「クリニック棟」については、テナントの入居が当初計画より遅延している状況となっております。当社といたしまして、計画時点と現在の経済情勢の大幅な変化や、クリニックの新規開業件数の全国的な減少傾向等の外部環境と、これまでの運営実績を踏まえ、今後テナントの入居がすすまなかった場合の事業リスクについて、外部の専門家の意見も考慮して検討した結果、当第2四半期において本医療モールの収支計画を見直す必要が生じました。その結果、本医療モールについて4億31百万円の減損処理をし、特別損失に計上することといたしました。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容(平成 23 年 5 月期)

基準日	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成 22 年 7 月 12 日)	—	0.00	—	30.00	30.00
今回修正予想	—	0.00	—	10.00	10.00
当期実績	—	—	—		
前期(平成 22 年 5 月期)実績	—	0.00	—	30.00	30.00

(2) 修正の理由

従来より当社では、安定的な配当の継続を基本方針として行ってまいりましたが、今期医療モールの減損処理により大幅な赤字を計上する見込みとなったことをふまえ、誠に遺憾ではありますが、配当金につきましては従来の1株当たり 30 円の配当予想を 10 円の配当予想と修正させていただく事となりました。

4. 役員報酬の減額及び監査役報酬の返上

上記業績予想及び配当予想の修正のとおり、業績の下方修正と期末配当の減額を厳粛に受け止め、経営責任を明確にするため、役員報酬の減額を行うことといたしました。

また、監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、あわせてお知らせいたします。

(1) 役員報酬の減額、監査役報酬の返上の内容

代表取締役	報酬の 30%を減額
取締役(2名)	報酬の 30%を減額
取締役(5名)	報酬の 10%を減額
社外取締役	報酬の 5%を減額
監査役	報酬の 5%を返上

(取締役については医療モール事業との関連によって区分しております。)

(2) 対象期間

代表取締役及び取締役(2名)は6ヶ月、取締役(5名)及び社外取締役は3ヶ月とします。

また、監査役は1ヶ月とします。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上